

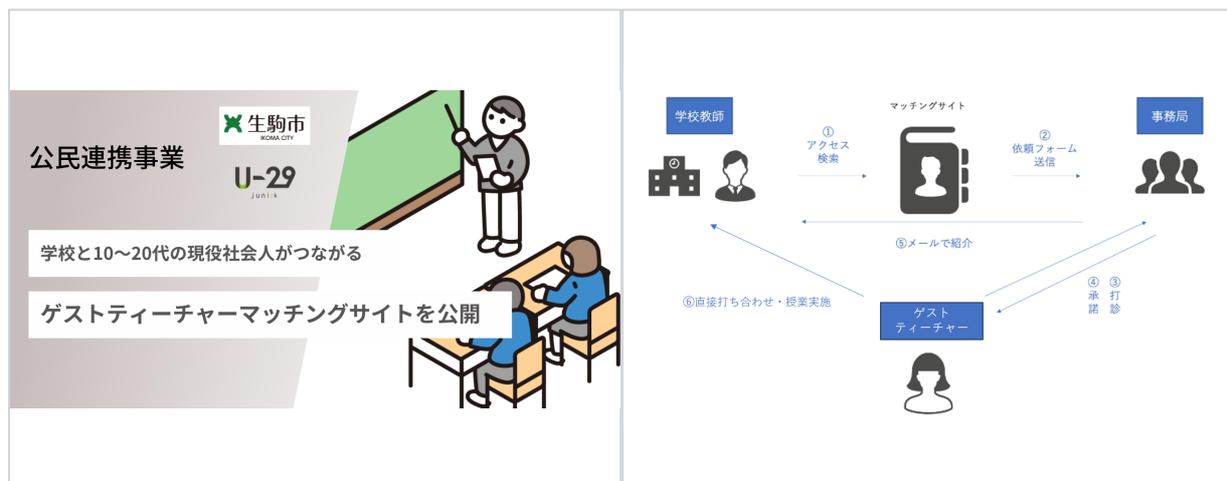
# 学校と社会人をつなぐ「ゲストティーチャーマッチングサイト」

奈良県生駒市 × 株式会社ユニーク

(登録団体：奈良県生駒市)

## 取組概要

学校外の繋がりを得たい公立の学校・教員に対して、10代・20代の社会人との繋がりを提供することで、多様なゲストティーチャーと授業企画を行うことができます。事前にゲストティーチャー候補の記事を読むことができるため、授業のテーマに合わせて人選しやすく、オンラインであれば無償で授業に登壇してくれる方を集めたことで、報酬に悩むことなく依頼をすることができるサイトになっています。



メイン画像

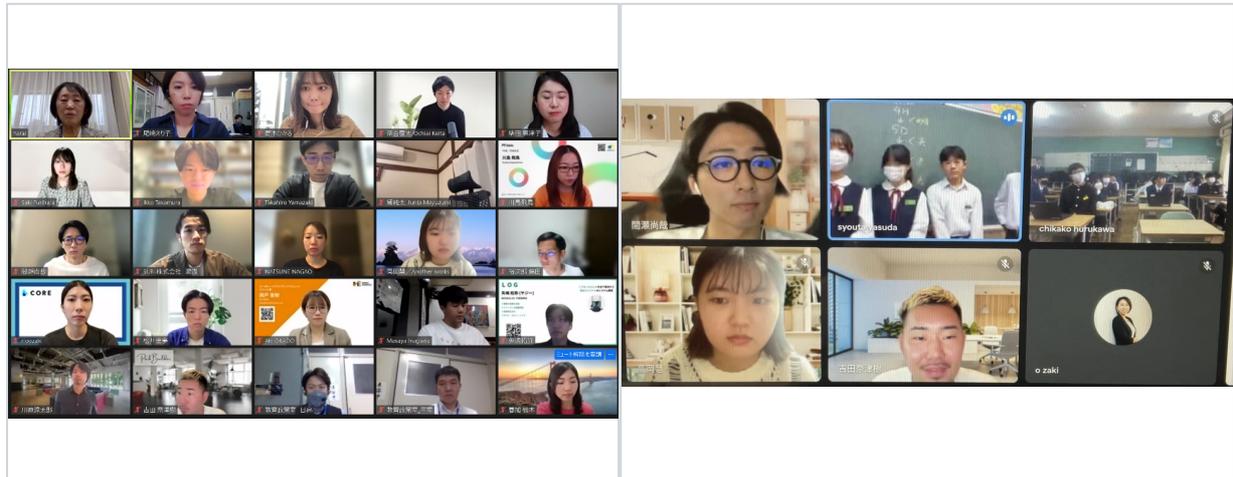
事業モデル

## 基本情報

代表地方公共団体等	奈良県生駒市
代表民間団体等	株式会社ユニーク
他の連携団体等	市内の学校
カテゴリ	教育プログラム・学力向上 起業支援 生涯教育・リカレント教育
目指すSDGsゴール	

	  
事業化までの期間	2022年1月から市内中学校で取組を開始。生徒の反応や先生の見解を受け、2023年3月事業化

## 取組内容



取組の様子

取組の様子

この取組で解決した課題	<p>【学校・教員の課題解決に貢献した】</p> <p>①ゲストティーチャーとの繋がりが少ない 『自分の人脈だけではなく、多くの社会人の話を聞く機会を作ってあげたいが難しい』 『企業と繋がっていても担当者が変わったり、教師が変わると繋がりが途切れてしまう』 『出会えない、知り合えない、協力を依頼できないことが悩みだ』</p> <p>②ゲストの経歴や経験の把握ができない 『どのような話をされるのか当日まだ分からないことが多く、初めての人にゲストティーチャーを依頼する場合は不安がある』</p> <p>③報酬に対する罪悪感がある 『報酬がなかなかお支払いできないので、依頼することが失礼に当たるのではないかと思い、躊躇していた』</p> <p>【ゲストティーチャーの課題】</p> <p>①学校との繋がりがわからない 『教育に携わりたかったが、方法がわからなかった。』 『自分の経験を話して、次の世代にバトンを渡したいが母校以外につながりがない』</p>
解決に向けた手法	<p>U-29世代向けコミュニティメディアを運営する株式会社ユニークが今まで取材した方を対象にゲストティーチャー希望者を募り、希望者の一覧を見やすいように整理し、誰でもアクセスしやすいサイトおよび問い合わせしやすいフォームを作成しました。</p>

## 【参考サイト】

<https://www.notion.so/U-29-7adab0a899f74ce0ba3112446ed42444>

## 取組詳細

事業推進上の各団体の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>■生駒市教育委員会教育こども部教育指導課教育政策室：学校との授業を設計、連携企業との調整</li> <li>■株式会社ユニーク：システム開発、ゲストティーチャー候補者への声掛け、マッチングのための事務局運営</li> <li>■市内の学校：授業の実施、授業に対するフィードバック</li> <li>■ゲストティーチャー：学校との打ち合わせ、授業の実施</li> </ul>
地域関係者との連携方法	<p>現場の先生や生徒の声を丁寧に聞きとりただけでなく、生駒市立鹿ノ台中学校の2年生に対して、全3回にわたるキャリア支援授業を共同企画し、体験していただきながら、事業モデルを検討しました。</p>
資金調達方法	資金調達なし
事業推進上の課題・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>■工夫した点 <ul style="list-style-type: none"> <li>①ゲスト全員分のメディア記事 ゲストティーチャー候補の方の人生や仕事の詳細が記事になっているため、事前にゲストの経験や考え方を知ることができ、依頼しやすくしました。</li> <li>②無償でのオンライン登壇 オンラインであれば無償で依頼できることに許可をいただいている方を集めることで、学校・教員が抱いていた報酬に関する罪悪感をなくしました。</li> <li>③分かりやすい問い合わせフォーム 「まずは一度話をしたい」という気軽な気持ちでアプローチすることを可能にしました。</li> <li>④最初のみ事務局が仲介に入る 最初のみ調整のために事務局がはいり、学校からの候補日程や希望コンテンツを聞き、候補者を探すことでスムーズなマッチングを実現しました。</li> <li>⑤発信によって認知度を上げる Twitterや教育委員会公式ブログ、事例集などで本取組を活用した事例を発信することで、他の学校が活用の仕方や事例を知り、行動に移しやすくなりました。</li> <li>⑥対面で授業の実現 オンラインのみならず、対面での授業希望も可能にしました。検索で出身地や活動拠点を調べることができ、学校に来てもらいやすいゲストを選ぶこともできます。</li> </ul> </li> </ul>

## 担当者のコメント

現場の教員や生徒の感想やアイデアをもとに今回の公民連携事業は生まれました。このサイトを活用し、2023年11月には2校合同で行ったオンライン職業体験の授業に23名のゲストが生徒の提案に評価・フィードバックを行う審査員として参加してくれました。12月には近畿地方在住のゲストを学校に招く授業も計画をしています。他種多様な生き方、働き方をしている20代の社会人と繋がることで、子どもたちの価値観や視野が大きく広がりました。また、生駒市のみならず、他の自治体でも使えるシステムとしたことで多くの公立学校に利用されています。このサイトを利用し、地域に寄らず、日本中の公立学校の子どもたちが多様性を学び、世界を広げる機会になればと願っています。



事業推進者：尾崎えり子

## 問い合わせ先

団体名称	奈良県生駒市
部局名	SDGs推進課
氏名	黒湯 大輔
電話番号	0743741111
eメールアドレス	eco-model@city.ikoma.lg.jp

## 優良事例応募項目

### 応募にあたっての記載事項

#### ■地方創生SDGsの視点

特定の教員との繋がりでゲストティーチャーを学校に招く方法だけでは多様な価値観を知るためのキャリア教育の授業が持続可能ではなくなってしまいます。教員の異動によってゲストティーチャーとの繋がりが途切れないように、また繋がりを持っていなかったとしても新たにゲストとの繋がりを見つけることができるように、この事業モデルを考えました。また、地域による教育格差をなくすための取組としても価値を發揮しています。

#### ■ステークホルダーとの連携

今回は生駒市教育委員会事務局、生駒市の小中学校、株式会社ユニークが連携し、事業を推進しました。現場の先生や生徒の声を聞きながら事業モデルを丁寧に築きました。

#### ■モデル・波及性

今回のマッチングサイトは生駒市のみならず、全ての自治体が

使えるオープンなシステムにしたことによって、日本中の公立学校が活用できます。すでに他自治体でも本マッチングサイトを使ってゲストティーチャーを招いている事例が出てきています。対面での講演も学校とゲストティーチャーとの交渉によって実現できるため、オンラインでの授業だけでなく、対面での授業にも活用が広がっています。